

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 規則について

本大会の競技は、2025 年日本陸上競技連盟規則と本大会要項並びに競技注意事項を適用する。

## 2. 競技場への入場について

競技場への入場は9時からとする。それ以前に、2Fピロティおよび観覧席には立ち入らないこと。  
競技場2階ピロティの場所取りは、9時に100mスタートのゲートより入場する各団体2名とし、入場し場所を確保すること。9時以前には場所取りはしないこと。また、スペースは譲り合って使用すること。

## 3. ウォーミングアップについて

①ウォーミングアップを含めて、競技場への入場は北門ないしはスタンド南側階段からとする。なお、ダッグアウト前、中央ゲートの通行は禁止する。

②競技あるいはウォーミングアップ終了後、選手はトラック外側を反時計回りに歩いて、北門から退出すること。なお、スタンド南側階段から、スパイクを脱いで、スタンド経由での退出も可能。

③競技場への入場は、ウォーミングアップを含めて、原則として競技者のみ可能とする

④ウォーミングアップは、競技役員の指示に従い、指定された場所、時間に行うこと。ただし、競技の運営上、制限することがある。またウォーミングアップ中は、各々が事故防止に万全を期すること。

⑤トラック競技のウォーミングアップについて、競技開始前 9:25 まではトラック全周を使用できる。ただし、1、2レーンは周回練習用とする。

⑥周回レースが行われていない時間帯に限り、バックストレート（3～8レーン）を開放する。なお、バトンパス等、レーン毎の練習内容は、競技役員の指示に従うこと。また、バトンパス練習で使用したマーカーは、終了後、必ず各々で回収すること。なお、その他の時間帯の練習については、審判員の指示に従うこと。

## 4. 招集について

① 招集場所は北ゲート出口付近（100mスタート地点）とする。

② 所定の時間に遅れないようにし、点呼は必ず本人が受ける事、遅れた者の出場は認めない。

③ 招集はその種目の競技開始**30分前**より開始し、**20分前**に打ち切る。

## 5. アスリートビブス（ナンバーカード）は主催者で用意した物を、そのままの大きさにユニフォームの背と胸にしっかりと固定すること。但し跳躍競技については、胸、背のどちらか片方でもよい。走幅跳は前面が望ましい。トラック種目は写真判定装置を使用するため腰ナンバーカードを付ける。リレーはアンカーのみ付ける。

腰ナンバーカードは各自で準備すること。「縦12cm×横18cmの白い布状のものにレーンナンバーもしくはORDを黒字で太さ1.5cmではっきり書くこと」

競技者の右腰のあたりに安全ピン等でしっかりと固定すること。

## 6. 走路順、試技順について

① プログラム記載順とする。

## 7. 競技用具について

①競技用具は、すべて主催者が用意した物だけが使用できる。

②リレーに使用するマーク用テープはチーム名記入のものを用意すること。

競技終了後はチームが責任をもって回収すること。

## 8. フィールド競技について

走高跳は次の高さより競技を開始する。中学男子（1m35）中学女子（1m15）から開始とし、男子は（1m65）女子は（1m45）までは5cmそれ以降は3cmずつ上げる。

走幅跳、砲丸投の競技は一人3回の試技とする。

## 9. リレー競技について

リレーに出場するチームは競技開始 90 分前までにオーダー用紙を競技者係に提出すること。提出完了時刻を超えた場合は、当該種目を棄権したものとし、出場できない。

## 10. 記録証について

①参加者全員に記録証を配布する。当日のみの配布となるので当日中に必ず持ち帰ること。本部横に記録証 Box を設置している。後日の郵送等を行わない。

## 11. その他

- ① 競技場は全天候舗装であるのでスパイクのピンは9mm以下を使用する。
- ② レーンを使用する競技で棄権があった場合は、そのレーンを空けて競技を行う。
- ③ 選手の変更は認めない。
- ④ 競技中に発生した傷害、疾病については応急処置のみ本部にて行うが以後の処置は各自で行う。
- ⑤ 貴重品や衣類の管理は各自で行い、盗難防止に留意すること。
- ⑥ スタートの合図はイングリッシュコマンド。不正スタートをした競技者は失格とする。  
中学生は都、中体連申し合わせ事項を適用する。
- ⑦ ごみ類は必ず持ち帰り、競技場やその周辺の美化に努めること。
- ⑧ 制限された場所への立入りを禁止する。
- ⑨ 引率顧問の打合せを9時15分ダッグアウト前にて行う。
- ⑩ プログラムの記載の訂正がある場合は速やかに本部まで申し出ること。

## 大会参加にあたって

### 新型コロナウイルス等感染症の拡大防止について（競技者及び来場者に関して）

- （1） 感染症対策については、各自で感染予防に努めること
- （2） 来場にあたっては、3つの密（密閉・密集・密接）を避けた行動を推奨する
- （3） マスクについては個人の判断に任されているが、人が密集する場所では、着用を推奨する
- （4） 新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどによる感染症罹患中及び回復後十分な時間を経過していない場合には競技会へ参加しない、また競技会場において観戦しないこと
- （5） 発熱、咳等の症状がある者は競技会に参加しない、また競技会場において観戦しないこと
- （6） こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒を励行すること
- （7） 日々の体調管理を推奨する